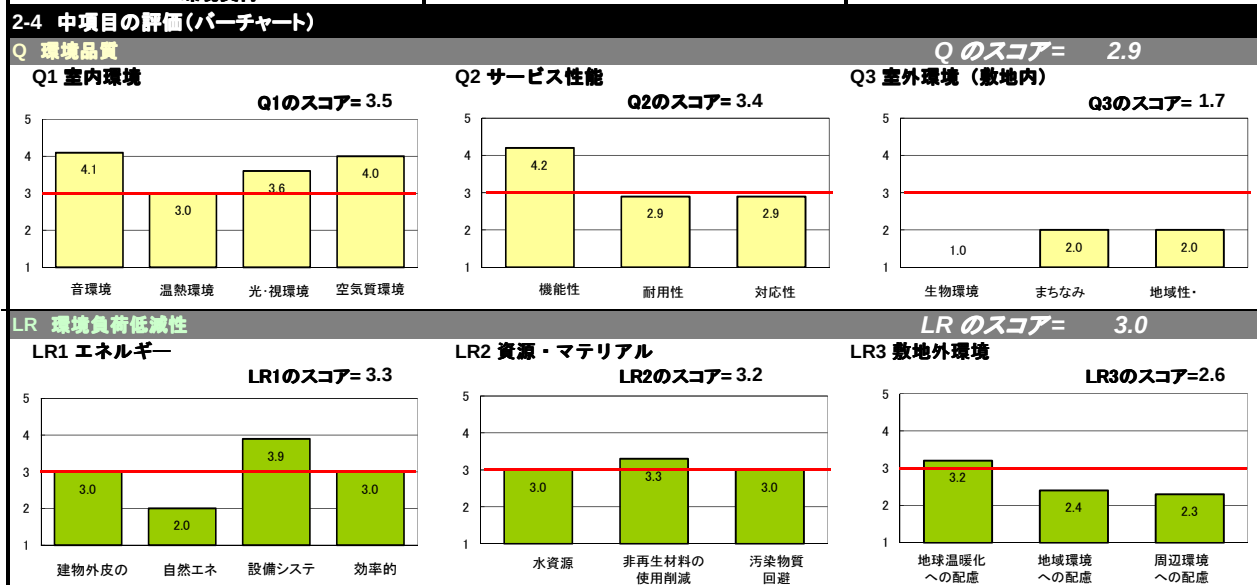
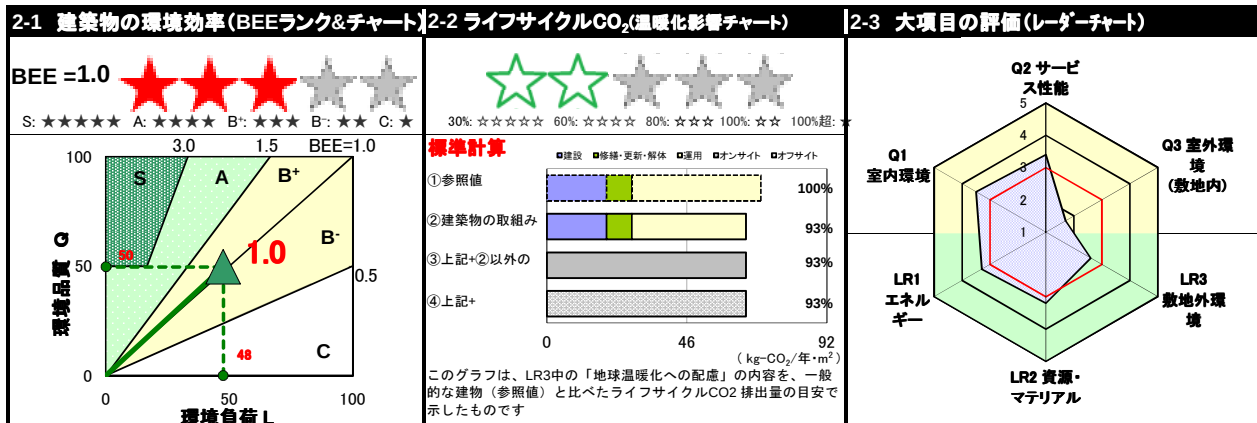


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 追加版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)THE MUSE 豊沢町	階数	地上6F
建設地	姫路市豊沢町1番、4番	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	55 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年4月8日
敷地面積	858 m ²	作成者	高室
建築面積	464 m ²	確認日	2024年4月8日
延床面積	2,224 m ²	確認者	高室



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
居住性の向上ということに視点を置き、デザイン・機能をよくする配慮をしています。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
全住戸のバルコニーを東の公園側、南側に設け、日当たり、見通しを良くするように配慮しました。	適切な配管材料の選定により、更新間隔の長期化を図ります。	街並みとの調和を図るため、色彩計画に配慮しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の断熱性能を高め、熱負荷の抑制を図ります。	建築材料は全面的にF☆☆☆☆を使用し、可能な限り化学汚染物質の抑制に努めます。	適度な外構照明計画とし、光害の抑制、省エネに寄与します。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される